

特定非営利活動法人 日本住宅性能調査協会 からのお知らせ

業界初！！ 実地研修施設開設

—木造住宅・耐震診断技術者養成のため—

日本住宅性能調査協会では、業界に先駆けて耐震診断実地研修施設（木造住宅）を八王子市内に開設しました。居住者のいる住宅を使用して耐震診断の研修を行うのは業界初です。研修は、定期的で開催いたしますので技術向上にご活用下さい。

橋本専務理事談、「巨大地震はいつ起っても不思議ではありませんが、木造住宅の耐震化は、遅々として進んでいません。耐震化は緊急を要するので、診断技術の向上には不可欠として開設しました。協会員向けに、耐震診断実地研修を定期的に行います。空き家では生活感がないので居住者のいる床下や天井裏に入って実地調査を体験してもらい、居住者への配慮や養生、留意点など机上講習では出来ないことも実地体験して頂きます。調査結果は（財）日本建築防災協会の評価プログラムに入力して補強方法も学びます。信頼に足る診断技術者が増えれば耐震化は促進されますので、研修料金は施設利用料も含め、会員向けが2日間で6万4千円と安価に設定しましたのでご活用下さい。希望があれば自治体の診断担当者や耐震化促進担当者などにも開放する予定です。」

住宅の耐震改修が進まない背景

耐震診断が必要とされる木造住宅数 2400 万戸に対して耐震診断技術者の絶対数が足りないことや、壁を壊して壁内部の筋交増強を中心とした従来の補強方法では、費用面や日常生活への影響など施主の負担が大きくなり補強を諦めてしまうことなどがあります。耐震性に問題があると指摘されても改修工事实施者は2割以下のようなようです。自治体によっては独自に耐震診断講習会を実施して登録診断士制度を実施していますが、実際の建物を使用した講習会は実施していません。その為、現地での調査の経験が無い者や、診断プログラムを使用しない簡易診断程度で補強するなど問題点も多く、診断精度を疑問視する声もありました。日本住宅性能調査協会では、診断7つ道具の使い方や安価で信頼性の高い補強設計など協会が培ったノウハウも提供致します。